

# 道路の国勢調査「道路交通センサス」を 実施します。

「道路交通センサス」は、交通量や道路の利用状況、交通渋滞状況などを調査、分析して、これからのみちづくりやまちづくりに役立てている大切なものです。この調査は昭和3年から続けられ、全国一斉におよそ5年毎に行っている道路の国勢調査で、今年がその調査年となっています。 → [資料-1](#)

国土交通省では、青森県、日本道路公団などと連携して、交通量の観測、アンケート調査などを行います。

今回調査の特徴として、調査手法の効率化やコスト縮減の観点から、機械観測による新たな調査手法の導入や、近年着実に車両数が増加しているETC装着車を対象とし、インターネットを利用したアンケートを実施します。 → [資料-2](#)

青森県内では、10月から11月にかけて、調査を行いますので、ご協力お願いいたします。

## ■調査スケジュール（青森県内）

		調査箇所・調査対象	調査予定日	予備日
一般 交通量調査	道路現況調査	高速道路、一般国道、都道府県道	9月～11月	
	交通量調査	高速道路	(平日) 10/19(水) (休日) 10/16(日)	(平日) 10/26(水) (休日) 10/23(日)
		一般国道	(平日) 10/6(木) (休日) 10/2(日)	(平日) 10/12(水) (平日) 10/13(木) (休日) 10/23(日)
		都道府県道	10/2(日)～11/9(水)	
	旅行速度調査	高速道路、一般国道、都道府県道	10/2(日)～11/9(水)	
路側OD調査	郵送OD調査	青森県内の高速道路等の 主にインターチェンジ料金所で実施	(平日) 10/19(水) (休日) 10/16(日)	(平日) 10/26(水) (休日) 10/23(日)
	フェリーOD調査	青森港、八戸港、大間港	(平日) 10/19(水)	(平日) 10/26(水)
オーナーインタビューOD調査	青森県内の自動車をお持ちの方 の中から無作為に選定された方	自家用車:(平日)10/18(火)、(休日)10/23(日) 営業用車:(平日)10/6(木)、(休日)10/2(日)		

## ■調査実施機関

国土交通省東北地方整備局、青森県、日本道路公団東北支社の3機関で行います。

※発表記者会:青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

### 【問い合わせ先】

- ・国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所  
調査第二課長 亀井 督悦 (かめいまさよし)  
〒030-0822 青森市中央三丁目20-38 TEL:017-734-4570
- ・青森県県土整備部道路課企画調整グループ  
グループリーダー 三橋 友吉 (みつはしともよし)  
〒030-8570 青森市長島一丁目1-1 TEL:017-734-9649
- ・日本道路公団東北支社管理事業部交通技術チーム  
チームリーダー 大西 光幸 (おおにしみつゆき)  
〒989-3121 宮城県仙台市青葉区郷六字庄子39-1 TEL:022-226-1546  
※10月1日以降は、東日本高速道路株式会社が継続して調査を行います。

# 1. 道路交通センサスって？

## 「道路交通センサス」は道路の国勢調査です。

道路交通センサスは、全国の道路と道路利用の実態を捉え、将来の道路整備の方向を明らかにするため、全国の道路状況、交通量、旅行速度、自動車運行の出発地・目的地、運行目的等を調査するもので、道路に関する国勢調査ともいうべきものです。

**センサスの意味：**センサスの語源は古代エジプトや中国等で行われた人口調査の事で、現代では転じて国勢調査や全数調査の意味に使われています。

### 目的は？

道路は、わたしたちの日常の生活を支える非常に重要な社会資本ですが、車利用の増加に伴い、渋滞や地球環境への影響など多くの問題点を引き起こしています。

このため、国土交通省では道路交通の現況と問題を把握し、様々な問題への対策や、将来にわたる道路の整備計画を策定するための基礎資料を得ることを目的に、道路交通センサス（正式名称は「全国道路・街路交通情勢調査」）を行っています。

### いつから？

道路交通センサスは、いわば道路に関する国勢調査として、昭和3年度に道路改良会が実施した「全国交通調査」に端を発し、昭和55年度以降は概ね5年に1回（昭和55年度、60年度、平成2年度、6年度、11年度）の割合で実施しています。今回の調査は平成11年度以来6年ぶりの調査となります。

### 県内で行われる調査内容は？

#### 道路現況調査（調査機関：国土交通省・青森県・日本道路公団）

調査箇所：国道と県道及び高速道路の約590箇所で行います。

調査内容：過年度（平成11年度）調査時から、道路の改築や維持修繕等により更新されている道路現況（車道・歩道の幅員及び車線数、交差点の数、信号の青時間等）について調査・整理を行います。

#### 交通量調査（調査機関：国土交通省・青森県・日本道路公団）

調査箇所：国道と県道及び高速道路の約350箇所で行います。

調査内容：走行する自動車の台数について調査を行います。

#### 旅行速度調査（調査機関：国土交通省・青森県・日本道路公団）

調査箇所：国道と県道及び高速道路の約580箇所で行います。

調査内容：混雑（ラッシュ）時間帯に走行する自動車の最も混雑している（ピーク）時間帯の自動車旅行速度について調査を行います。

#### 郵送OD調査（調査機関：日本道路公団）

調査箇所：高速道路インターチェンジの入口及び第二みちのく有料道路料金所の12箇所で行います。

調査内容：高速道路を利用する方（ETC利用者を除く）を対象に、調査票を配布し、返送により回収した結果から、車の利用状況等について調査を行います。

平日調査の調査票配布は、調査実施日の10:00～翌日の10:00（24時間）の間に利用された方を対象に配布します。

休日調査の調査票配布は、調査実施日の3:00～翌日の3:00（24時間）の間に利用された方を対象に配布します。

## フェリーOD調査（調査機関：国土交通省）

調査箇所：青森港、八戸港、大間港の各フェリーターミナル内

調査内容：自動車利用でフェリーに乗船する方を対象に、車の利用状況等について調査を行うもので、調査機関が発行する身分証を携帯した調査員が、アンケート形式で聞き取りを行います。

## オーナーインタビューOD調査（調査機関：国土交通省・青森県）

調査箇所：無作為に抽出された車の所有者や事業者などに行います。

調査内容：無作為に抽出された車の所有者や事業者などを調査員が直接訪問し、車の利用状況等についての調査依頼と調査票へのご記入をお願いします。皆さんを訪問する調査員は、調査機関が発行する身分証を携帯しており、調査の目的や記入方法をご説明しますので、ご協力をお願いします。

自家用車を対象とした調査は、県内約20,000世帯分の回収を目標に行います。

営業用車を対象とした調査は、県内約1,000台分の回収を目標に行います。

ODとは...Origin（起点・出発点）とDestination（終点・目的地）の略です。

## 2. 今回(平成 17 年度)の道路交通センサスの特徴は？

### 実施時期を変更しました

従来の全国統一日調査から、**調査期間に幅を持たせた調査**へ変更しました。  
( 調査機器の使い回しや調査負担軽減が目的)

### 機械計測の導入します (一般交通量調査)

一般交通量調査のコスト縮減、データ精度向上等の観点から、交通量常時観測機や簡易トラフィックカウンター及び、GPS 機器を搭載した自動車により走行経路の位置情報を取得するプローブカーデータの活用など、機械計測を導入します。

#### 簡易トラフィックカウンターとは？

路面に貼りつけたセンサーが、車両が通過することにより発生する磁力線の歪みを車両情報として認識し、自動車の交通量等を測定するものです。

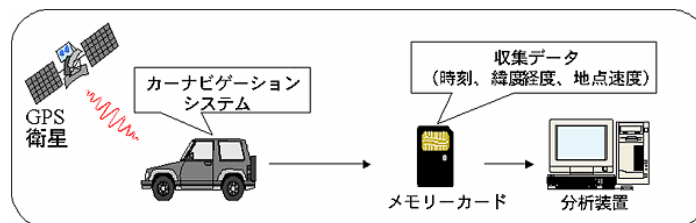


◀ 簡易トラフィックカウンター  
による交通量測定状況

#### プローブカーとは？

【プローブカーとは、飛行機に搭載されている「フライトレコーダー」の自動車版】

自動車に搭載したGPS機器が、人工衛星から時刻や緯度・経度などのデータを受信して、自分の位置を1秒間隔で把握することにより、調査区間の旅行速度(速度)、渋滞時の速度がわかります。



### インターネットOD調査を導入します (路側OD調査)

高速道路の路側OD調査では、高速道路等のインターチェンジの入口等で**調査票の入った封筒を配布し、記入後10日以内に郵送にて返送してもらい回収する方式(郵送OD調査)**により、出発地・目的地等の運行状況を把握する調査を行います。

一方で、高速道路等ではETCのご利用が着実に増加しており、現在全体の約4割の方にETCをご利用頂いておりますが、ETC車は料金所をノンストップで通過するため、従前の郵送OD調査を実施することはできません。

しかし、ETC車の調査を実施しないことは、高速道路等を利用して頂いている車の出発地・目的地等の運行状況を正確に調査したことにはならないことから、ETC装着車に対しましては、**アンケートを道路公団のホームページ上に掲載し、そのアンケートに回答して頂くことにより**運行状況を調査するものです。

この調査は、今回の道路交通センサスで新たに実施する調査です。ETCを利用して頂いている運転者の方々は、是非ともご協力の程お願い致します。

## 路上路側OD箇所の見直し(路側OD調査)

路上路側OD調査は、オーナーインタビューOD調査では充分把握しきれない長距離トリップを捉えることが目的です。

本州内のコードラインの距離的バランスを考え、コードライン( )の位置を見直し・廃止しました。

東北地方においては、前回、北東北(岩手・秋田)～南東北(宮城・山形)の県境付近で調査していたものを、今回は、東北地方～関東地方・北陸地方を横切る道路で、**聞き取り調査**を行います。

コードラインとは、地域ブロックを超えるような比較的少数の自動車の動きを精度よく補足するために地方整備局際や都道府県際に設定した調査ライン

